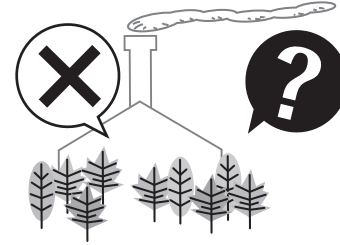


緊急報告!



ついに“環境影響調査”始まる

北アルプス広域連合は、活断層についての確認調査を「生活環境影響調査」の一部として実施することを決め、本年1月10日に指名競争入札を実施し、16日に大町市の業者と契約しました。



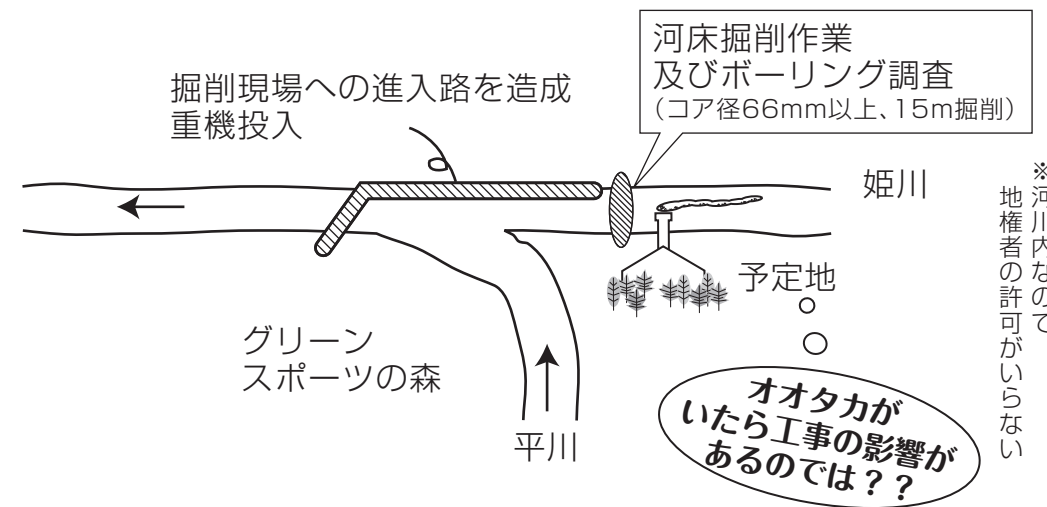
オオタカの調査もだよ。

“住民の合意を得てから実施する”としていた環境影響調査を…

村民の過半数の白紙撤回署名があるのに…

…これを無視して実施しようとしています。

広域連合議会では、予算の可決。
白馬村議会では、調査の了承を出したが…。



これに対して“ごみ連協”は

- ・昨年9月28日に《候補地・飯森の「予備調査」に反対する意見書》の提出
- ・昨年12月7日に《河川敷内確認調査を生活環境影響調査として行なうことに対して、監査請求》の提出 (要旨裏面参照)

を行いました。

皆様の一層のご支援をお願いいたします!

ご支援いただける方からのカンパを、是非お願いいたします。

カンパ振込先: 八十二銀行白馬支店 普通口座: 137464 名義: ハクバゴミモンダイカンパ

このような状況中で、村長は12月12日の議会定例会召集の挨拶で、“ごみ連協がこの調査を進めるのはよろしいと進言をした”と述べていますが、これは全くの事実無根であり、強く抗議すると共に、発言の撤回を求めています。

●《候補地・飯森の「予備調査」に反対する意見書》要旨

1. 「活断層から50m離せば安全」という説明は崩壊している

活断層が“飯森地区”の直近にあるのは文献でも明記されており、さらに中越沖地震での被害状況、特に柏崎刈羽原子力発電所の事故状況をみれば、活断層付近に事故発生のリスクを負う施設を建設することの愚は明白である。

2. 「予備調査」の費用は高額で税金の無駄遣いである

活断層の位置を明確にするための調査となれば地面を掘っての調査となると思われ、費用は高額となるはずである。活断層から50m離すために高額の費用を支出するのは税金の無駄遣いである。

3. 「飯森地区」は、真っ先に除外すべき場所である

用地選定における一次選定の基本「防災面で施設建設が望ましくない地域は候補地より除外する」という手順に戻り、18カ所の候補地について専門家による文献調査と現地調査を行って、防災面の配慮から不適切な地区を除外すべきである。そうすれば、飯森は真っ先に除外対象になる。

この予備調査の実質が、建設候補地として“住民の同意を得てから行う”としている地質調査を含む「環境影響調査」に相当し、これを認めることは、建設候補地として“飯森地区”を認めたことになると思う。この点からも「飯森地区」への建設を前提にした予備調査は許容できない。



●飯田住民が生ゴミの堆肥化所を作成

昨年、ゴミ連協が木曽広域連合の生ゴミ堆肥化工場の見学会を実施しました。早速、飯田地区のAさんが木曽広域連合の工場を参考にして自宅前の畑に3m×6mの堆肥化所を自力で作りました。ホクト(大町)からキノコ菌を4tトラック2杯と土を混ぜ、下部には空気は通るように丸太などを敷きつめ、知恵と汗の結晶です。近所の人やペンションの方々が毎日生ゴミを搬入しています。このような物が各地区に出来れば、生ゴミの減量に弾みがつきますね。



白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会ニュース  <http://www.hakuba-kaeru.com/>

発行：白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
白馬村北城八方口5897-1 (たきみや) 会長：宮田温巳

<事務局> TEL：0261-72-2527 FAX：0261-72-4344

●「活断層・副断層の確認調査」の出費(152万円)に対する監査請求の要旨

1. 住民合意がない

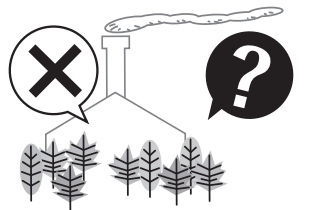
住民説明会では、「生活環境影響調査及び測量・地質調査についての合意をいただいた上で、地権者の方からの了解をいただき、調査に入る」、また「生活環境影響調査の実施にあたっては、調査項目等に関して住民の皆様からご意見をいただき、実施することとし」とも説明されているにもかかわらず、住民の合意を得ることなく、また住民の意見を聞くことなく一方的に決定されている。

2. 規定予算外の不当な契約である

3. 調査の必要性及び効果が十分検討されていない

活断層からの距離については、「活断層の真上及びその両側50mを除外要件とする」と説明してきたが、今回の調査は候補地横の姫川河川敷地内で行われるので、調査地点で「活断層」が有っても無くても、川幅約30mとすれば候補地はほぼ除外要件の場所であり、調査の必要性及び効果を期待できないと考える。

以上、今回の河川調査ならびにボーリング調査は不当、不法な支出であり、支出を止めることを求める。



●今までの主な活動(12月以降/他団体・行政も一部含む)

- 07/12/03 白馬村議会西澤議長に「白紙撤回への理解を求める要望書」と「住民投票条例制定」の陳情書を出しました。→継続審査
- 12/07 北アルプス広域連合監査委員に、「活断層・副断層及び猛禽類の確認調査(予備調査・河川調査)」の出費(152万円)に対する監査請求を行う。
- 12/12 村議会を見に 聴きに行こう!活断層の確認調査を決定(ニュース 16号)
- 12/18 12月村議会での「村長の発言」(上述)に対して「抗議と要請」を文書で村長に提出。
- 12/27 12/18の抗議に対して対応がなされなかったため、村長との面談を行なった。
- 08/01/10 村長、副村長と再度面談を行う。
- 01/16 「抗議と要請」に対する村長回答文書が届く